

2009年度

部落解放・人権 大学講座

部落解放・人権大学講座は、今年で35周年を迎えます。これまで381団体、4,494人の人々がこの講座で学ばれ、人権問題のスペシャリストとしてご活躍です。人権に関する知識を得ることのみならず、企業、行政、市民団体など、多様な受講生間の交流が視野を広げ、学びを深めます。受講生同士のつながりは、修了後も貴重なネットワークとして活かされています。

開講35年。381団体、4,494人の受講実績

第97期

2009年 2009年
6月9日火～12月8日火

“人権”を総合的に学べる国内有数の講座

部落問題をはじめとする人権問題や人権啓発の方法論などに関する専門的な講座です。「学習者こそが主人公」という考え方にもとづき、日常の人間関係を離れ、年代や職業の異なる人々が一個の人間として互いに向き合い、学びます。

充実の講師陣・サポート体制

充実した講師陣に加え、企業・行政・教育関係などで、長年、人権啓発に取り組んできた助言者が、人権や差別についての受講生の疑問に答えます。また、図書資料室「りぶら」では、受講生のニーズに応じた適切な文献や資料を紹介します。

被差別当事者との出会い

差別とはなにか。知識や理論だけでなく、実際に被差別当事者と出会い、人権確立のために実践されている方々の現場を訪れ、学びます。具体的な現実を体感することによって、人権問題に対応する実力を養います。

第98期

2009年 2010年
10月9日金～3月19日金

※2009年度は2期開講です。
※実施日数は各期29日間、定員は各期65名です。

受講料 241,500円(消費税含む)

2009 年度 部落解放・人権大学講座 プログラム

● 場合により日程は変更することがあります。

97 期	98 期	9 : 30 ~ 16 : 45		
6/ 9(火)	10/ 9(金)	開講式 (10 : 00 ~) オリエンテーション 講義「部落の歴史」 図書資料室の使い方		
		9 : 30 ~ 12 : 30	13 : 30 ~ 16 : 30	
6/10(水)	10/15(木)	出合いのワークショップ	人権の概念と歴史	
6/16(火)	10/21(水)	同和行政の歴史と今後の課題	人権と福祉のまちづくり	
6/24(水)	10/22(木)	差別をなくする社会システムのあり方	部落地名総鑑事件と企業の社会的責任 ～公正採用選考のために～	
		9 : 30 ~ 11 : 30	12 : 30 ~ 14 : 30	15 : 00 ~ 16 : 30
6/30(火)	10/29(木)	部落差別の現状と課題	同和教育と人権教育	大阪人権博物館の見学
7/ 6(月)	11/ 5(木)	宿泊研修① 私と部落問題	私の部落解放運動	
7/ 7(火)	11/ 6(金)	宿泊研修② 部落解放運動の歴史	自己啓発学習に向けたワークショップ	
7/14(火)	11/12(木)	自己啓発学習①	小グループ討議	
7/21(火)	11/19(木)	自己啓発学習②	小グループ討議	
7/27(月)	11/26(木)	自己啓発学習③	班討議	
7/28(火)	11/27(金)	自己啓発学習④	班討議	
8/ 4(火)	12/ 3(木)	自己啓発学習⑤	小グループ討議	
8/10(月)	12/10(木)	自己啓発学習⑥ 冊子作成 (9 : 30 ~ 11 : 00)	班討議	
8/26(水)	12/17(木)	自己啓発学習⑦	班討議 (9 : 30 ~ 16 : 00)	自由課題研究 レポート説明会
9/ 1(火)	12/18(金)	水平社博物館の見学とフィールドワーク		
		9 : 30 ~ 12 : 30	13 : 30 ~ 16 : 30	
9/ 8(火)	1/ 7(木)	近代化と差別	部落解放への理論	
		9 : 30 ~ 12 : 00	13 : 00 ~ 15 : 30	15:45~16:45
9/15(火)	1/14(木)	司法と人権～狭山事件を踏まえて～	宗教者が語る人権	自主学習
9/28(月)	1/21(木)	人権の視点からみた労働問題	野宿労働者の人権／沖縄出身者の歴史と人権 (フィールドワーク)	
9/29(火)	1/22(金)	女性の人権	在日韓国・朝鮮人の人権	フィールドワーク ふりかえり
10/ 6(火)	1/28(木)	ハンセン病と人権／ エイズ患者・HIV 感染者の人権	セクシュアルマイノリティの人権	自主学習
10/13(火)	2/ 4(木)	子どもの権利	講義「障害者の人権」と就労支援施設見学 (西成地区)	
10/20(火)	2/ 5(金)	日本で暮らす外国人の人権	持続可能な開発と人権	
10/28(水)	2/12(金)	報道と人権	人権としてのメディア・リテラシー	
11/ 2(月)	2/19(金)	成人教育論	自由課題研究レポート (質問タイム)	
11/10(火)	2/26(金)	市民意識の現状から見た 人権啓発の課題	人権相談のあり方	
11/17(火)	3/ 4(木)	職場における人権研修	啓発ビデオを使った人権研修	自主学習
11/24(火)	3/11(木)	フィールドワーク (大阪近辺の部落を予定)		
12/ 1(火)	3/18(木)	自由課題研究レポート発表		
12/ 8(火)	3/19(金)	21 世紀における人権の課題	記念講演「これからの部落解放運動」	修了の集い

…自己啓発学習 …自由課題研究レポート …フィールドワーク

本講座では講義や現地研修の他に、「主体的な学び」を促すため、以下の2つのプログラムを設けています。

自己啓発学習

「自己啓発学習」は、受講生一人ひとりの中にある部落問題への認識や、差別・被差別体験を見つめ直し、部落問題や人権問題を自らの問題として捉え直すことを目的としています。経験豊かな助言者からのアドバイスを受けて、少人数のグループでの話し合いを通じて、豊かな人権感覚を身につけていきます。

自由課題研究レポート

受講期間の後半には、部落問題・人権問題に関するテーマを自由に設定していただき、レポートを執筆いただきます。専門的な知識をより深め、人権研修のリーダーとして自らの考えを他者に的確に伝える力を身につけます。部落問題・人権関係図書資料の専門図書館「りぶら」が、適切な文献や資料の紹介など、レポート執筆をサポートします。

修了生の声



解放大学を受講して

第91期 辻本 教佳 西山浄土宗

何十年かぶりに本格的に勉強しましたが、この解放大学での半年間は40数年の人生においてベスト3にランクインするほど楽しく同時に良い機会でした。まず同期のみんなとふれあえたこと。また初日、二日目の講義の進められ方で、不安と緊張は瞬間に解消されました。ここで学んださまざまな差別や人権問題が一日でも早く、少しずつでもなくなるように、我々がガッチリとスクラムを組んで、ノーサイドの笛の音が高らかに鳴り響く、そんな世の中をめざしてこれからも取り組んでいきます。



新しいとびら

第92期 豊村 博明 昭和シェル石油(株)

「人権って差別しないことでしょ」程度の意識しか持っていなかった自分でしたが、人と関わりながら生きていくこの社会において、バランスのとれた人権感覚を身につけることが自分の幅を広げる意味でいかに大切なことかを自覚しました。多くの講師からいろんな切り口で講義を聞き、多くの仲間に恵まれて、なかなか職場や家庭では話せないことも、その垣根を越えて語り合えたことが、これからの自分の糧になると思います。



⇄見つめる⇄語り合う⇄つながる⇄

第93期 中山 孝一 阪南市教育委員会

解放大学の味わいの理由は「講師のお話・班討議～意見交換・疑問・反発・共感・理解・挑戦 etc...」という、まるで好み焼きみたいな料理法にあるんやと私は解釈しています。同和教育が長年培ってきた「⇄見つめる⇄語り合う⇄つながる⇄」っていうサイクルに、あらゆる取り組みがミックスされた感じです。この美味しさを知れば、きっと「人権はすべての人が味わったことのある、懐かしい味！ もっぺん食いたいなあ」ってことになるはずだと思います。



芦原橋の29日間

第94期 亥野 篤江 資生堂販売(株)

解放大学に参加させていただいたことは、私の人生の中でとても有意義な半年でした。今まで深く考えることもなかった人権のことを、講師の方や、企業、行政の方などとのたくさんのお会いの中で学びました。解放大学で学んだことは、これからの仕事、私生活に大きく役立つと思います。そして、自分自身の勉強だけでなく、事業所で「人権啓発と言えば亥野」と言われるような活動をし、一人でも多くの方に「人権の大切さ」を伝えていきたいと思っています。

私たちも推薦します



平松 邦夫
大阪市長



野村 明雄
大阪商工会議所会頭



組坂 繁之
部落解放同盟
中央執行委員長



横田 洋三
(財)人権教育啓発
推進センター理事長



高松 秀憲
全国同和教育研究
協議会委員長



武者小路 公秀
(財)アジア・太平洋人権
情報センター会長

講師

李 美 葉 NPO法人多民族共生人権教育センター
内田 龍史 (社)部落解放・人権研究所研究部
大賀 正行 (社)部落解放・人権研究所名誉理事
大北規句雄 福祉運動・みどりの風事務局長
大西 英雄 大阪同和・人権問題企業連絡会理事長
小笠原正仁 浄土真宗本願寺派僧侶、(社)和歌山人権研究所理事
奥田 均 近畿大学教授
川喜田好恵 大阪府立女性総合センター、フェミニストカウンセラー
川島 保 ハンセン病社会復帰者
岸本 里美 大阪市東住吉区人権協会事務局長
北口 末広 部落解放同盟大阪府連合会執行委員長、近畿大学教授
北野真由美 NPO法人えんぱわめんと堺
熊沢 誠 研究会「職場の人権」代表、甲南大学名誉教授
組坂 繁之 部落解放同盟中央本部執行委員長
栗本 敦子 Facilitator's LABO〈えふらぼ〉
黒川みどり 静岡大学教授
神戸 修 大阪芸術大学短期大学部講師、浄土真宗本願寺派僧侶
小頭 芳明 クボタワークス(株)
櫻井 純理 大阪地方自治研究センター研究員
桜井智恵子 大阪大谷大学、川西市子どもの人権オンブズパーソン

田中 妙子 大阪心のサポートセンター
寺木 伸明 (社)部落解放・人権研究所理事長、桃山学院大学教授
土肥いつき セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク
友永 健三 (社)部落解放・人権研究所所長
中北龍太郎 大阪弁護士会、狭山事件再審弁護団事務局長
中山 久夫 クラシエホールディングス(株)
西田 義則 部落解放同盟大阪府連合会人権相談・啓発運動部事務局長
西村 寿子 (社)部落解放・人権研究所編集販売部部長
丹羽 雅雄 大阪弁護士会
朴 一 大阪市立大学大学院教授
花井 十伍 (特活)ネットワーク医療と人権理事
浜本 裕子 ESD-関西
姫嶋 純子 心理カウンセラー
平川 宗信 中京大学教授、報道被害者支援ネットワーク・東海代表
平沢 安政 大阪大学大学院教授
松岡 広路 神戸大学大学院教授
村井 茂 (財)大阪府人権協会専務理事
安田 幸雄 部落解放同盟大阪府連合会総務部長
養父 知美 弁護士

(50音順)

■フィールドワーク受入先 (日程順)

大阪人権博物館 水平社博物館 関西沖縄文庫
(社福)ヒューマンライツ福祉協会 障害者支援部

NPO法人 釜ヶ崎支援機構

(2009年1月現在)

助言者

芦田 武雄 大和ハウス工業(株)
荒木 康雄 元全国同和教育研究協議会副委員長
安藤 正彦 第53期部落解放・人権大学講座修了生
井村 紘 リバティおおさかガイドボランティア、
第23期部落解放大学講座修了生
上平 桂士 (社)和歌山人権研究所理事、
第12期部落解放大学講座修了生
大賀 喜子 大阪市立大学非常勤講師
金子 則夫 第28期部落解放大学講座修了生
幸田 英二 第52期部落解放・人権大学講座修了生

小林 繁 大阪市企業人権推進協議会
椎葉 正和 第37期部落解放大学講座修了生
塩谷 幸子 部落解放同盟向野支部支部長
高山 義弘 第32期部落解放大学講座修了生
中田 重幸 第12期部落解放大学講座修了生
西畑 富三 法務省人権擁護委員
乗本 良一 第19期部落解放大学講座修了生
藤尾 修子 第64期部落解放・人権大学講座修了生
保田 謙吾 第54期部落解放・人権大学講座修了生

(2009年1月現在、50音順)

日程

※随時、ご予約を受け付けております。ご希望の期はお早めにご連絡ください。(先着順)

第97期 2009年6月9日(火)～12月8日(火) 受講申込締切日 2009年5月15日(金)

第98期 2009年10月9日(金)～2010年3月19日(金) 受講申込締切日 2009年9月9日(水)

●実日数は、各期とも29日間です。●時間帯は、原則として午前9:30～午後4:45です。●定員 各期65名 合計130名

受講料

241,500円(消費税込)

※宿泊研修費、教材費を含みます。

開講式までにお振り込みください。

受講料振込先

りそな銀行 桜川支店

普通預金 口座番号 0487613

口座名義 社団法人部落解放・人権研究所

理事長 寺木 伸明 人権大学講座

●受講料の減額措置について

個人で受講申し込みをされる場合などで、受講への熱意があり、かつ受講料全額の支払いが困難であると判断される方は、申請の上、受講料の減額措置を受けることができます。

●ボランティア制度について

左記、減額措置の対象に該当する方で、講義の日程以外の日レジュメの印刷等のボランティアをしていただける方については、条件に応じて受講料を免除します。事務局にご相談ください。

※この他、厚生労働省の制度で、キャリア形成促進助成金があります。制度の詳細については、雇用・能力開発機構都道府県センターにお問い合わせ下さい。

<http://ehdo.go.jp/> 雇用・能力開発機構都道府県センター ナビダイヤル 電話 0570-001154

受講の手続き

- ①各期、申込締切日までに、「受講申込書」に必要事項をご記入の上、下記の申込先までお送りください。
- ②受講申込書受付後、書類審査を行い、折り返し、受講決定通知・請求書等をお送りします。
(なお、必要に応じて面接を行うことがあります。)
- ③申込受付は、**先着順**とし、各期とも年間を通じて随時受け付けています。定員になり次第、受付を締め切ります。
- ④受講される方が確定していない段階でも、定員内で予約を受け付けています。

申込先

(社)部落解放・人権研究所 啓発企画室 部落解放・人権大学講座事務局

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉 1-6-12 大阪人権センター内

TEL 06-6567-3893 FAX 06-6568-0714

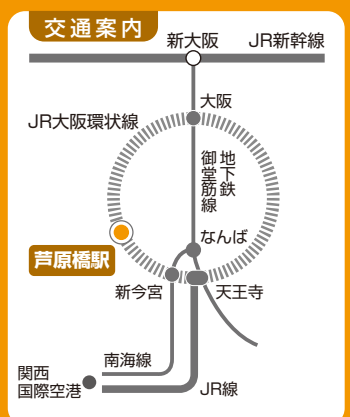
E-Mail kaidai@blhrri.org

主会場

大阪人権センター

●JR環状線「芦原橋」駅下車徒歩7分
(こちらの方が、本数が多く便利です)

●南海汐見橋線「芦原町」駅下車徒歩3分



2009年度 部落解放・人権大学講座 受講申込書

お名前	ふりがな	性別	年齢
	※ 性別(自認)と年齢は、宿泊研修の部屋割り、班分けの際に参考にさせていただきます。		
連絡先	1. 所属 ※ 部・課・係名までお書きください。		
	〒		
	TEL	FAX	
	e-mail		
	2. 自宅 講座運営中の緊急連絡と講座修了後の連絡のために使用します。必ずご本人同意の上、ご記入ください。		
受講関係書類送付先	〒		
	ご担当者名		
	TEL	FAX	
	希望する期 ※ いずれかに○をつけてください。		
	第97期 第98期		

事務局使用欄

受付番号	受付日	／	受付者
------	-----	---	-----

※ ご記入いただきました個人情報は、講座の運営・修了後の研修等の目的以外には使用いたしません。

※ 今回、ご記入いただきました内容に変更が生じた場合には、

お手数ですが、講座事務局 TEL:06(6567)3893 FAX:06(6568)0714 E-mail:kaidai@blhri.org までご連絡ください。

派遣研修の場合は、裏面もご記入ください。

申込方法

本「**受講申込書**」に必要事項をご記入の上、**作文**（詳細下記）を添付して、申込締切日までに講座事務局へお送りください。

受講申込
締切日

第**97**期 2009年**5**月**15**日**金**

第**98**期 2009年**9**月**9**日**水**

添付する作文について

本講座受講の意識付けのために、事前にご執筆いただくものです。
以下の3点について1,200字程度にまとめて、「受講申込書」に添付してご提出ください（書式自由）。

- ・ 受講の動機や抱負
- ・ 現在の業務と人権の関わり
- ・ 部落問題や差別に関しての経験や見聞きしたこと など

受講生の派遣にあたって

1 人選について

この講座は、部落問題をはじめとする人権問題を解決するために必要な指導者養成を目的としています。
したがって、できるだけ以下の条件を満たす方に受講いただくことをお勧めします。

1. 部落問題や人権問題に関わる具体的な業務や役割をもった人
2. 部落問題や人権問題に関して学習意欲のある人

2 修了の要件について

次の三点を修了要件としますので、受講される方に、事前にお伝えください。
業務の都合等で要件を満たせない場合は、事務局にご相談ください。

1. **講座への8割以上の出席**（全日程の出席が原則です。やむを得ず欠席された場合は、講義録音による補講を行います。**ただし、自己啓発学習は補講が行えませんので必ずご出席ください。**）
2. **自己啓発学習の修了**（原則全7日間の出席と、レポートの提出が必要です。）
3. **自由課題研究レポートの提出**（講座期間中の指定する期日までに提出してください。）

派遣の目的

※ 所属長が記入してください。

所属長名

印

欠席について

※ どうしても出席できない日時がある場合、事前にお知らせください。

日時 年 月 日 () : ~ :
理由

主催・お問い合わせ

(社) 部落解放・人権研究所 部落解放・人権大学講座事務局

〒556-0028

大阪市浪速区久保吉 1-6-12 大阪人権センター内

TEL 06 (6567) 3893 FAX 06 (6568) 0714

E-mail kaidai@blhri.org URL <http://blhri.org>

協力

部落解放・人権大学講座運営委員会

部落解放・人権大学講座運営委員会は、大阪府、大阪市、堺市をはじめとした大阪府内の自治体や、人権教育関係組織、大阪同和・人権問題企業連絡会、大阪企業人権協議会、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議など、各界で人権問題に取り組む団体で構成され、本講座の企画・運営にご協力いただいております。

過去受講生を派遣された組織

■大阪府 ■大阪市 ■堺市 ■豊中市 ■池田市 ■箕面市 ■吹田市 ■高槻市 ■茨木市 ■摂津市 ■守口市 ■枚方市 ■寝屋川市 ■大東市 ■門真市 ■四條畷市 ■交野市 ■東大阪市 ■八尾市 ■松原市 ■柏原市 ■富田林市 ■河内長野市 ■羽曳野市 ■藤井寺市 ■大阪狭山市 ■泉大津市 ■和泉市 ■高石市 ■岸和田市 ■貝塚市 ■泉佐野市 ■泉南市 ■阪南市 ■能勢町 ■豊能町 ■島本町 ■太子町 ■河南町 ■千早赤阪村 ■忠岡町 ■熊取町 ■田尻町 ■岬町 ■福知山市 ■尼崎市 ■宝塚市 ■加古川市 ■市川町 ■奈良市 ■宇陀市 ■曽爾村 ■御代田町 ■三重県 ■四日市市 ■鈴鹿市 ■松阪市 ■鳥羽市 ■名張市 ■伊賀市 ■桑名市 ■津市 ■野洲市 ■東近江市 ■和歌山市 ■米子市 ■大阪の部落史編集委員会 ■反差別国際運動日本委員会 ■部落解放同盟愛媛県連合会 ■部落解放同盟大阪府連合会 ■部落解放同盟中央本部 ■部落解放同盟奈良県連合会 ■部落解放同盟兵庫県連合会 ■カトリック正義と平和協議会 ■カトリック中央協議会 ■浄土真宗本願寺派 ■真宗大谷派 ■西山浄土宗 ■世界救世教 ■曹洞宗 ■天理教 ■日本基督教団 ■日本聖公会 ■和宗総本山四天王寺 ■泉佐野市人権を守る会 ■大阪府人権教育研究協議会 ■大阪府人権啓発推進協議会 ■大阪市立高等学校人権教育研究会 ■大阪市立住吉人権文化センター ■大阪府私立学校人権教育研究会 ■大阪府人権教育研究協議会 ■大阪府人権福祉施設連絡協議会 ■大阪府信用農業協同組合連合会 ■大阪府専修学校各種学校連合会人権教育推進協議会 ■大阪府地域支援人権金融公社 ■大阪府福祉人権推進センター ■大阪府立学校人権教育研究会 ■岸和田市人権啓発推進協議会 ■堺市人権教育推進協議会 ■堺市農業協同組合 ■JAグループ大阪人権推進連絡会 ■人権啓発推進大阪協議会 ■全国共済農業共同組合連合会 ■中小企業連合会 ■日本労働組合総連合会大阪府連合会 ■全国農業協同組合連合会 ■東大阪市人権啓発協議会 ■枚方郵便局部落解放研究会 ■部落解放大阪府企業連合会 ■(財)大阪府人権協会 ■(社)甲賀・湖南人権センター ■(財)高速道路交流推進財団 ■(財)新日本宗教団体連合会 ■(財)聖パルナバ病院 ■(社)大阪府人権協会 ■(社)日本水道協会 ■(社)ひょうご部落解放・人権研究所 ■(社)部落解放・人権研究所 ■(社)大阪府社会福祉協議会 ■(社)大阪府社会福祉協議会 ■(社)若江学院 ■(学)エール学園 ■(学)大阪国際学院 ■(学)大阪産業大学 ■(学)大阪歯科大学 ■(学)城南学園 ■(学)追手門学院大手前高等学校 ■(学)関西情報工学院専門学校 ■(学)関西大学 ■(学)享栄学園 ■(学)近畿大学 ■(学)四天王寺学園 ■(学)塚本学院 ■(医)寺西報恩会長吉総合病院 ■(医)南大阪病院 ■(医)渡辺第二病院 ■独立行政法人雇用・能力開発機構 ■IHI (株) ■アイシン精機(株) ■アイワ(株) ■(株)あおぞら銀行 ■朝日生命保険(相) ■安治川鉄工(株) ■味の素(株) ■アステラス製薬(株) ■(株)アライドテック ■イオン(株) ■イオンディライト(株) ■イオンリテール(株) ■石塚硝子(株) ■イズミヤ(株) ■イトキン(株) ■稲畑産業(株) ■(株)IMAGICAウェスト ■宇部興産(株) ■エクソンモービル(有) ■SEIハイブリッド(株) ■SEIビジネスクリエイツ(株) ■(株)SEIプロスタッフ ■NECシステムテクノロジー(株) ■NECセミコンダクターズ関西(株) ■NECライティング(株) ■NTN (株) ■(株)NTTドコモ中国 ■(株)NTTドコモ東海 ■(株)エヌ・ティ・ティネオメイト関西 ■(株)NTTビジネスアソシエ関西 ■近江鉄道(株) ■大磯産業(株) ■オーエル(株) ■大内新興化学工業(株) ■大倉(株) ■大倉運輸産業(株) ■大阪ガス(株) ■大阪協栄信用組合 ■大阪石油化学(株) ■(株)大津コーポレーション ■オムロン(株) ■カネボウ化粧品販売(株) ■カネヨウ(株) ■(株)関西アーバン銀行 ■関西国際空港(株) ■関西ペイント(株) ■関西電力(株) ■菊正宗酒造(株) ■KISCO (株) ■キッコーマン(株) ■共栄火災海上保険(相) ■キリンビール(株) ■(株)近畿大阪銀行 ■近畿工業(株) ■近畿コカコーラボトリング(株) ■近畿日本鉄道(株) ■(株)近鉄百貨店 ■(株)きんでん ■(株)クボタ ■クラシエホールディングス(株) ■クラボウ(株) ■(株)クラヤ三星堂 ■栗田工業(株) ■栗本商事(株) ■(株)栗本鐵工所 ■グンゼ(株) ■(株)群馬銀行 ■(株)

■ケイ・オプティコム ■京阪電気鉄道(株) ■興和(株) ■国際警備保障(株) ■コスモ警備保障(株) ■コスモ建物管理(株) ■小林製薬(株) ■(株)ザイマックスビルマネジメント ■佐藤工業(株) ■(株)澤田商工 ■山九(株) ■産業振興(株) ■サンスター(株) ■参天製薬(株) ■サントリー(株) ■三洋電機(株) ■GE三洋クレジット(株) ■(株)ジェイアール西日本交通サービス ■(株)ジェイアール西日本ホテル開発 ■JFEスチール(株) ■JFE継手(株) ■(株)ジェイテクト ■塩野義製薬(株) ■(株)滋賀銀行 ■(株)資生堂 ■資生堂販売(株) ■清水建設(株) ■シャープ(株) ■シャープマニファクチャリングシステム(株) ■蛇の目ミシン工業(株) ■(株)ジョイックス ■(株)商工組合中央金庫 ■(株)商船三井 ■昭和シェル石油(株) ■信越化学工業(株) ■新関西エアポートサービス(株) ■新協和産業(株) ■新光証券(株) ■新星和不動産(株) ■新内外綿(株) ■新日本石油(株) ■新日本石油精製(株) ■住電電業(株) ■住友金属機工(株) ■住友金属工業(株) ■住友金属物流(株) ■住友商事(株) ■住友信託銀行(株) ■住友精密工業(株) ■住友生命保険(相) ■住友電気工業(株) ■住友電工ハードメタル(株) ■住友電設(株) ■(株)清文社 ■積水ハウス(株) ■摂津水都信用金庫 ■(株)銭高組 ■全日本空輸(株) ■双日(株) ■象印マホービン(株) ■(株)損害保険ジャパン ■(株)ダイエー ■ダイキン工業(株) ■(株)第三銀行 ■大成建設(株) ■大同工業(株) ■大同生命保険(株) ■ダイハツ工業(株) ■太平住宅(株) ■太平洋セメント(株) ■(株)大和証券グループ本社 ■大和ハウス工業(株) ■(株)竹中工務店 ■田辺総合サービス(株) ■田辺三菱製薬(株) ■(株)チトセ ■中央観光バス(株) ■(株)ツバキエマソン ■テルウェル西日本(株) ■テレビ大阪(株) ■(株)デンソー ■(株)電通 ■東海カーボン(株) ■東海染工(株) ■東海旅客鉄道(株) ■東急リパブル(株) ■東京海上日動火災保険(株) ■東洋紡インテリア(株) ■東レ(株) ■ドコモサービス関西(株) ■トヨタ自動車(株) ■(株)豊田自動織機 ■トヨタ車体(株) ■西日本高速道路(株) ■(株)西日本シティ銀行 ■西日本電信電話(株) ■西日本旅客鉄道(株) ■(株)日建設計 ■日産プリンス大阪販売(株) ■日新製糖(株) ■(株)日清製粉グループ本社 ■ニッセイ同和損害保険(株) ■ニッセイ・ビジネス・サービス(株) ■日鐵住金溶接工業(株) ■日東カストディアル・サービス(株) ■日東電工(株) ■日東紡績(株) ■(株)日住サービス ■(株)日本アクセス ■日本インシュアランスサービス(株) ■日本興亜損害保険(株) ■(株)日本システムディベロップメント ■日本生命保険(相) ■日本タクシー(株) ■日本たばこ産業(株) ■日の出証券(株) ■日本電気硝子(株) ■日本山村硝子(株) ■日本輸送機(株) ■(株)日本旅行 ■(株)ニュージェック ■(株)ネクステージ関西 ■(株)ノエビア ■(株)ノザワ ■(株)ノリタケカンパニーリミテド ■(株)間組 ■パナソニック コンシューマー マーケティング(株) ■阪神高速道路(株) ■阪神電気鉄道(株) ■(株)ビケンテクノ ■(株)日立製作所 ■(株)広島銀行 ■(株)びわこ銀行 ■(株)福井銀行 ■(株)福井製作所 ■富士火災海上保険(株) ■富士生命保険(株) ■(株)フジソク ■(株)不動テトラ ■(株)平和堂 ■ペガサスミシン製造(株) ■ぼぶり新聞社 ■(株)マイカル ■マスマニチュアル生命保険株式会社 ■(株)松井製作所 ■松尾電機(株) ■パナソニック(株) ■パナソニック電工(株) ■パナソニックエレクトロニクスデバイス(株) ■マツダ(株) ■マルハニチロ水産(株) ■(株)マンガム ■三菱自動車工業(株) ■みずほインバスターズ証券(株) ■みずほ信託銀行(株) ■三井住友海上火災保険(株) ■(株)三井住友銀行 ■三井造船(株) ■三菱地所(株) ■三菱製紙販売(株) ■三菱電機(株) ■三菱マテリアル(株) ■三菱UFJ信託銀行(株) ■光村図書出版 ■宮崎鉄工(株) ■明治安田生命保険(相) ■持田製薬(株) ■森下仁丹(株) ■(株)モリタ ■(株)山善 ■山文商事(株) ■ヤンマー(株) ■ユニチカ(株) ■読売新聞社 ■ラサ商事(株) ■理研計器(株) ■(株)りそな銀行 ■(株)レナウン

(順不同 ■2009年1月現在)